

# くすりのしおり

注射剤

2023年08月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名: オンキヤスパール点滴静注用 3750

主成分: ペグアスパルガーゼ (Pegaspargase)

剤形: 注射剤

シート記載など:



## この薬の作用と効果について

がん細胞の増殖に必要なアミノ酸を分解し、がん細胞のタンパク合成を阻害して、増殖を抑えます。通常、急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害がある。L-アスパラギナーゼで血栓症や出血、過敏症を経験したことがある。膵炎（L-アスパラギナーゼで経験した膵炎も含む）を経験したことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（ : 医療担当者記入）
- ・通常、2週間ごとに1回、静脈から1～2時間かけて点滴注射します。
- ・他の抗悪性腫瘍剤と併用されます。注射の間隔は、一緒に使用する他の薬や、症状・状態により異なりますので、具体的な使用期間については、医師に確認してください。
- ・副作用により、この薬を休薬、中止、または点滴時間を変更することがあります。

## 生活上の注意

- ・膵炎、出血しやすくなる、血栓塞栓症、肝機能障害、骨髄抑制、高血糖などがあらわれることがあるので、この薬の使用前および使用中は定期的に検査が行われます。
- ・けいれん発作、失神などの中枢神経障害があらわれることがあるので、この薬の使用中は、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- ・妊娠する可能性のある女性は、この薬の使用前および使用終了から少なくとも1ヵ月間は適切な避妊を行ってください。この薬の使用中は、妊娠する可能性のある女性は、経口避妊薬以外の避妊方法を用いてください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、食欲減退、貧血、凝血異常（出血しやすさ、青あざができるなど）、脱毛症、倦怠感、嘔吐、吐き気などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・意識の低下、息苦しい、発疹 [過敏症]
- ・強い腹痛、背中痛み、吐き気 [膵炎]
- ・吐き気、腹痛、黒い便がでる [(小腸出血などの) 出血]
- ・激しい頭痛、胸の痛み、足の激しい痛み [血栓塞栓症]
- ・体がだるい、吐き気、食欲不振 [肝機能障害]
- ・発熱、出血が止まりにくい、動悸 [骨髄抑制]
- ・発熱、寒気、体がだるい [感染症]
- ・体がだるい、体重が減る、喉が渇く [高血糖]
- ・しゃべりにくい、手足のふるえ、集中力の低下 [中枢神経障害]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。